

深浦駅前周辺整備

問

深浦駅前の町有地利活用と整備は

つぶやき

物価高、給付もなければ減税もなし、どうする!

答

町民の安全・安心・利便性を確保し段階的に進める



質問者の動画が視聴できます。

やぎ 八木

ふもと 史 議員



深浦駅前周辺整備は、町民の安全・安心・利便性を確保しつつ賑わい再生につながるよう段階的に進める必要がある。現状は交通結節点としての機能が有するが、周辺用地の確保が困難であり、土地利用状況や道路網、避難経路、景観などを関係機関や住民等と幅広く検討する必要がある。現段階では用地確保が課題であり、その解決が不可欠である。棧橋整備についても、水辺資源や交通状況、環境影響、安全性、維持管理費を踏まえ、駅前整備と併せて検討すべきと考える。

深浦駅前の町有地利活用については、前町長は「考えはない」と答弁していたが、昨年3月から無人駅となったことを踏まえ、新町長の考えはまた、駅前の賑わい回復策として、駅正面に棧橋を整備を考えるとどうか。

物価高で町民生活は年金生活者を中心に一層厳しくなっている。全町民に一律1万円の「暮らし応援商品券」を支

問 八木議員

『現時点で町独自の実施は考えていない』

物価高騰対策 独自の商品券支給して



▲駅前町有地



▲深浦駅



物価高騰は年金生活者だけでなく子育て世帯にも影響している。町独自で全町民に一律1万円の商品券を支給すべきとの提案だが、これまでも国の財源を活用した商品券配布を行っており効果はあったものの、現時点で町独自の実施は考えていない。

給できないか。

答 町長



▲旧ラーメン101

閉鎖中店舗貸付
旧ラーメン101の
今後の見通しは

『具体的見通しは立っていない』

問 八木議員

旧ラーメン101の店舗貸付については、3月定例会で応募2件との説明があったが、現在も閉鎖中である。これまでの経緯と今後の貸付見通しは。

答 町長

旧ラーメン101は令和7年3月末で営業終了し、町は食堂運営の事業者を募集した結果2件の応募があり、1事業者と協議を進めた。しかし施設の老朽化、とりわけ浄化槽設備の問題から事業者が借受けを辞退し、現在も閉鎖中である。今後の具体的見通しは立っていないが、現状のまま活用できる事業者があれば随時協議していく方針である。

地方創生交付金
地方創生交付金の
活用は

『戦略的・計画的に活用し、地域が求める地方創生事業を展開する』

問 八木議員

政府の「地方こそ成長の主力」の方針の下、地方創生交付金を活用した施策が進められている。本町でも今年6月に「深浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。今後、総合戦略に基づき具体的にどのような事業に取り組むのか。

答 町長

本年6月、令和7年度を始期とする5年間の具体目標と施策をまとめた「第3期深浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。地方の人口減少が加速する中、地域経済の維持・活性化と住民生活支援が課題である。戦略は大きく4分野に整理される。
①多様な世代が活躍する仕事づくりと地域活性化（農林畜水産業活性化、産業集積・新



産業創出、人材確保、観光振興、交流人口拡大）、②選ばれる地域づくりと人の流れ創出（定住促進、都市部への魅力発信、関係人口拡大、若者定着・U・I・Jターン促進）、③結婚・出産・子育て支援と未来の希望育成（切れ目ない支援、ワークライフバランス、教育充実、子育て世代支援）、④健康で安全安心な暮らしの支援（健康寿命延伸、地域包括ケア深化、安全安心地域づくり、公共施設維持、共生社会実現）。地方創生交付金を含む財源を戦略的に活用し、総合計画の将来像「みんなと共に未来を創る『ふかうらまち』」の実現につなげる。

訪問介護事業支援
訪問介護事業所への
支援は

『必要であれば財政支援も検討』

問 八木議員

町内の訪問介護事業所は、介護報酬引き下げや物価高騰、人材不足などで事業継続が困難な状況にある。地域の高齢者福祉を持続可能にするため、町として事業所支援をどのように強化するか。

答 町長

訪問介護報酬引き下げは、全国の高収益性事業所を基に適正化されたものである。一方、当町の訪問介護事業所は南北に細長い地理や移動時間の長さから収益性は高くなく、物価高騰や人材不足で事業継続が困難な状況にある。事業廃止が町民に与える影響を踏まえ、必要であれば財政支援も検討するが、一時的支援の効果や他サービスとの公平性を考慮し、適正な支援額を検討していく。